

オアシス通信



主を待ち望む「新しい力」

向日かおり先生

瀬戸で新年合同聖会



去る一月十五日(日)午後二時から、瀬戸サレム教会にて新年合同聖会が開催されました。長年にわたって瀬戸と岐阜で交互に開催して来ましたが、今年は瀬戸の担当の年でした。ゲストは、ゴスペルシンガーの向日(むかひ)かおり先生で、素晴らしい賛美とともに、イザヤ書40・31から「新しい力」と題してメッセージを取り次いで下さいました。

バブルが崩壊し、家族が住む家を失ったことや阪神大震災の経験を分かち合ってくたさる、東日本大震災のような大きな危機の時こそ「主を待ち望む」チャンスの時でもあります。また、「自分の声がうるさくて主の御声が聞こえなくなる」とある。黙して主を待ち望む必要がある。阪神大震災から十年目の日、一人神戸のハイパーランドに泣きに行った

時、寒い日にもかかわらず暖かい風が吹いて来て、「もつと喜べ！」と主が語っておられる気がして励まされた」と語って下さり、主を待ち望む者に与えられる新しい力について強調されました。

岐阜純福音教会からは二十人を超える兄弟と共に参加しました。青年会のメンバーが、メッセージ前に賛美する機会もありました。聖会后には、瀬戸サレム教会の皆さんの暖かい接待を受け、他教会からの参加者共々に楽しいお交わりの時を持ちました。

「イエス様は癒し主」

ファレイル師



一月八日(日)の礼拝において、田中ヴィクトル兄弟の友人でブラジルから日本訪問中のダニエル・ファレイル師が、特別ゲストとしてメッセージを取り次いで下さいました。ファレイル師は一月中旬まで大垣に約二週間滞在し、枝教会の大垣インターナショナル・フルゴスペル・チャーチなどで奉仕してブラジルに帰国されました。メッセージは、「床を取り上げ、歩きなさい」(ヨハ

薬物依存からの回復を支援

1月22日(日)の礼拝に、特定非営利活動法人 岐阜ダルクより、遠山香代表と4人の方々が体験談と働きの紹介に来て下さいました。岐阜ダルクでは、薬物依存症の方に共同生活、または日中集う場所を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって薬物依存からの回復を支援しています。遠山香さんや最近回復の体験をされたKさんの体験談は感動的でした。

ネ5・118」というタイトルで、以下のような内容でした。

私たちは、家族、肉体、霊的に癒しが必要です。神様は私たちを癒すことができます。イエス様は足なえの人に「床を取り上げ、歩きなさい」と言われました。イエス様が言われた時、彼は一瞬にして完全に癒されました。

神様のことは力があります。心に、体に、状況に癒しがもたらされます。最大の癒しは霊的な癒しです。